

大草谷津田いきものの里 自然観察会

夏の谷津田はムシ天国

岡田 敬子 (千葉市)

日 時: 2016年7月17日 (日) 10:30~12:00 天候: 曇り

参加者: 27名 (大人18名、子ども9名)

担当指導員: 田島正子・岡田敬子

曇り空で涼しい。熱中症の心配がないが、虫を見るには期待できない空模様。朝の下見では虫の姿が少なくどうなることかと心配する。

網と虫かご手に元気な子どもたちが集まってきた。

初めに、くいきものの里の約束、『持ち出さない・持ち込まない』、虫にとって住みやすい所は生まれた谷津田である事。スズメバチや虫を捕る時の注意>をした。

今日行うビンゴの説明をし、一家族一枚用紙をクリップボードにはさみ渡した。ビンゴの項目は、チョウ、ハチ、トンボ、バッタ、カマキリ、甲虫、ハエ、カメムシ、そして真ん中のマスは今日見つけたい虫を書いてもらうためのマス。「今日見たいものありますか」と尋ねると、ヤモリ、トカゲ、オニヤンマ、カブトムシなどと、いろいろな答えが返ってきた。

草原から虫探し、ショウリョウバッタが多い。林に入るとニイニイゼミの合唱が森に響く。木の根元や葉っぱにセミの抜け殻、ノコギリカミキリ、谷津田に出るとクロコノマチョウ、ナツアカネなど、虫かごに入れて観察する。子どもたちが網を振るも成果無し。

Yさんがシャチホコガの幼虫を持ってきた。頭とお尻をぐっと反り返らせている姿を見て「なるほどシャチホコだ〜」。モデルさんみたいに写真を撮られたり、大盛り上がり。オニヤンマにも声が聞えたのか、1頭だけ空高く飛んだ。タマムシも飛んだ。たくさんの目があるといろいろと見つかるものだった。

残念ながらカマキリが見つからずビンゴにならなかったが、楽しんでもらえたようだ。

次回の観察会に来てビンゴになるといいな〜と思う。



暗い林の中には..何がいるかな？



面白いシャチホコガの幼虫は大人気！